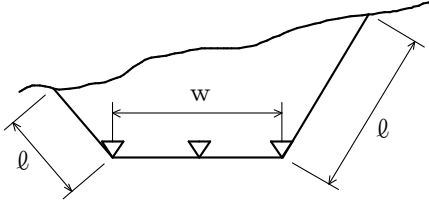
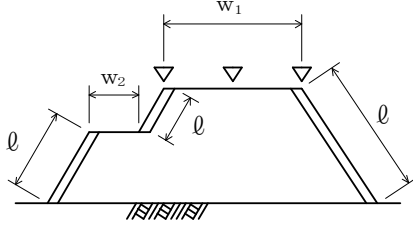
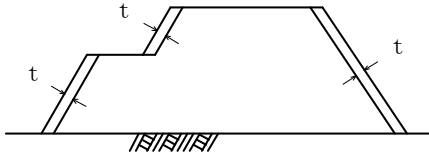


工種		測定項目	規格値(mm)	
4 舗装工事・道路改良工事	掘削工	基準高 ∇	± 50	
		法長 l	$l < 5 \text{ m}$	$\ominus 200$
			$l \geq 5 \text{ m}$	法長 $\ominus 4 \%$
		幅 w	$\ominus 100$	
	路体盛土工 路床盛土工	基準高 ∇	± 50	
		法長 l	$l < 5 \text{ m}$	$\ominus 100$
			$l \geq 5 \text{ m}$	法長 $\ominus 2 \%$
		幅 w_1, w_2	$\ominus 100$	
	法面整形工(盛土部)	厚さ t	$\ast \ominus 30$	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・道路改良工事	スファルト舗装工 (下層路盤工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—	—
		厚 さ	⊖45	⊖45	⊖15	⊖15
		幅	⊖50	⊖50	—	—
	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	⊖10
幅		⊖50	⊖50	—	—	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高は延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線 80m毎に 1 箇所測定。</p> <p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割に測定。</p> <p>ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線 80m毎に 1 箇所測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X_{10})について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・ 道路改良工事	アスファルト舗装工 (上層路盤工)		中規模	小規模	中規模	小規模
	セメント(石灰)安定 処理工	厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	⊖10
		幅	⊖50	⊖50	—	—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m²に 1 個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p> <p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X_{10})について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・ 道路改良工事	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖15	⊖20	⊖5	⊖7
		幅	⊖50	⊖50	—	—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m²に 1 個の割でコアを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p> <p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・道路改良工事	アスファルト舗装工 (基層工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	⊖3	⊖4
		幅	⊖25	⊖25	—	—
	アスファルト舗装工 (表層工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖7	⊖9	⊖2	⊖3
		幅	⊖25	⊖25	—	—
		平坦性			3m プロフィールメーター(σ)2.4mm 以下 直読式(足付き)(σ)1.75mm 以下	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m² に 1 個の割でコアを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p>	
<p>幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m² に 1 個の割でコアを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事（1 箇所当り 300 m² 未満）においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・ 道路改良工事	コンクリート舗装工 (下層路盤工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—	
		厚 さ	⊖45		⊖15	
		幅	⊖50		—	
	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	
		幅	⊖50		—	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高 は延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。 厚さは各車線 80m毎に 1 箇所測定。幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 2,000m² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線 80m毎に 1 箇所測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・ 道路改良工事	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝 青)安定処理工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	
		幅	⊖50		—	
	コンクリート舗装工 (アスファルト中間 層)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	⊖3	
		幅	⊖25		—	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m²毎に 1 個の割でコアーを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m²毎に 1 個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80 m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コアー採取について</p> <p>橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・道路改良工事	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	⊖10		⊖3.5	
		幅	⊖25		—	
		平坦性	—		コンクリートの硬化後 3mプロフィルメーター により機械舗設の場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ)3mm以下	
		目地段差	⊕2			
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工		中規模	小規模	中規模	小規模	
	基準高▽	⊕40	⊕50	—		
	厚 さ	⊖45		⊖15		
	幅	⊖50		—		
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工		中規模	小規模	中規模	小規模	
	厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8		
	幅	⊖50		—		

測定基準	測定箇所	摘要
<p>厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線 80m毎に水糸又はレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上測定。幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から 1 mの線上、全延長とする。</p> <p>なお、スリップフォーム工法の場合は、厚さ管理に関し、打設前に各車線の中心付近で各車線 80m毎に水糸またはレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 ヶ所以上路盤の基準高を測定し、測定打設後に各車線 80m 毎に両側の版端を測定する。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000m² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p>	
<p>隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>基準高は延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。</p> <p>厚さは、各車線 80m毎に 1 箇所測定。幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線 80m毎に 1 箇所測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・道路改良工事	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) セメント(石灰・瀝 青)安定処理工		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚さ	⊖25	⊖30	⊖8	
		幅	⊖50		—	
	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) アスファルト中間層		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚さ	⊖9	⊖12	⊖3	
		幅	⊖25		—	
	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工)	厚さ	⊖15		⊖4.5	
		幅	⊖35		—	
		平坦性			転圧コンクリートの硬化 後、3mプロフィールメー ターにより(σ)2.4mm以 下。	
		目地段差	⊕2			

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m²に 1 個の割でコアを採取もしくは、掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、500 m²に 1 個の割でコアを採取もしくは、掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線 80m毎に水糸又はレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上測定、幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から 1 mの線上、全延長とする。</p> <p>ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	
<p>隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。</p>	<p>維持工事（1 箇所当り 300 m²未満）においては、平坦性の項目を省略することができる。</p>	

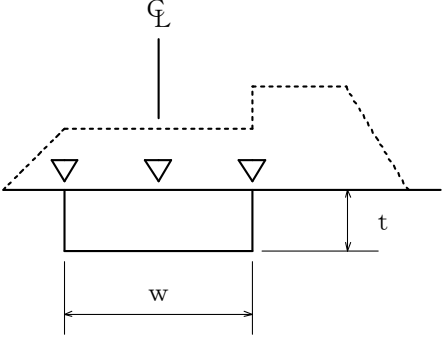
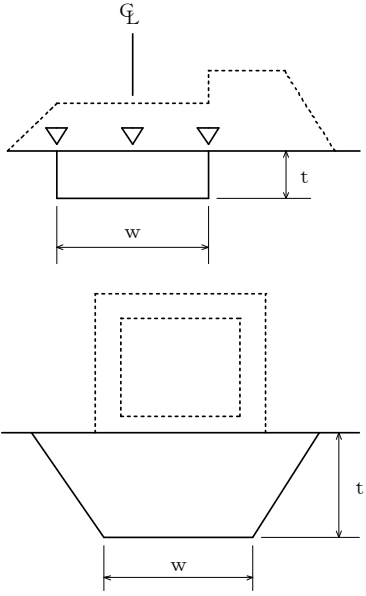
工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・道路改良工事	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—	
		厚 さ	⊖45		⊖15	
		幅	⊖50		—	
	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	
		幅	⊖50		—	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高は延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは、各車線 80m 毎に 1 箇所測定。</p> <p>幅は、延長80m 毎に 1 箇所の割に測定。</p> <p>ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m 以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000m² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p>	
<p>幅は、延長80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線80m 毎に 1 箇所測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m 以下の間隔で測定することができる。</p>	<p>①施工面積で 2,000m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p> <p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 舗装工事・道路改良工事	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	
		幅	⊖50		—	
	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖15	⊖20	⊖5	
		幅	⊖50		—	
	薄層カラー舗装工 (基層工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	⊖3	
		幅	⊖25		—	

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、500m ² に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t 未満</p>	
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、500 m ² に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	<p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について</p>	
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、500 m ² に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	<p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)	
4 舗装工事・道路改良工事	路床安定処理工	基準高 ∇	⊕50
		施工厚さ t	⊖50
		幅 w	⊖100
		延長 L	⊖200
	置換工	基準高 ∇	⊕50
		置換厚さ t	⊖50
		幅 w	⊖100
		延長 L	⊖200
	サンドマット工	施工厚さ t	⊖50
		幅 w	⊖100
		延長 L	⊖200

測定基準	測定箇所	摘要
<p>延長 40m 毎に 1 箇所 の 割 で 測 定。 基 準 高 は、道 路 中 心 線 及 び 端 部 で 測 定。 厚 さ は 中 心 線 及 び 端 部 で 測 定。</p>		
<p>施 工 延 長 40m (測 点 間 隔 25m の 場 合 は 50m) に つ き 1 箇 所、延 長 40m (50m) 以 下 の も の は 1 施 工 箇 所 に つ き 2 箇 所。 厚 さ は 中 心 線 及 び 端 部 で 測 定。</p>		
<p>施 工 延 長 40m (測 点 間 隔 25m の 場 合 は 50m) に つ き 1 箇 所。 厚 さ は 中 心 線 及 び 両 端 で 掘 り 起 こ し て 測 定。</p>	